

《第106回》 楠6町内子ども会（25）「第3回 廃品回収」 育成会会長 石川裕美、庄島彩華

令和6年12月1日(日)に、希望ヶ丘中央公園で「第3回 廃品回収」を行いました。

子ども会のメンバーが少ないので、毎回自治会の地域の方に協力をして頂いています。地域の方とも顔なじみになり、活動しながら話すのも楽しみの一つです。

子ども達も慣れた様子で、回収車から段ボールや空き缶、新聞雑誌などを運びます。みなさんの協力で、トラックいっぱい回収する事が出来ました！

最後に自治会の方にお礼を言って、子ども達はジュースとお菓子のプレゼントをGet！ 頑張った甲斐がありましたね！

この沢山の回収物を見て、子ども達の頑張るも嬉しかったですし、これが新しい物にリサイクル出来るので嬉しいなと改めて思いました。

今年度最後の廃品回収でしたが、この活動は素晴らしい活動です。もっと広めていければいいなと思います。沢山の協力により子ども会の活動も出来ています。

ありがとうございました。



みんな
手慣れた様子です





分別できました

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



トラックいっぱいの回収物



皆さんご協力ありがとうございました。

《事務局から》

事務局長 白石 和典

- ① 早速の活動報告有り難うございました。メンバーが少ないので毎回地域の人に協力してもらって活動されていますが、その「少ないという逆境」が「地域の人との協力」になり、自ずと世代を超えた交流になっています。このことは廃品回収という目的の他に様々な効果を生む素晴らしい活動のあり方です。子どもの数が減ってきたので子ども会活動を止めたという町内もあります。その一方で、小学生が少ないので中学生や、保護者もメンバーとして活動しているというところもあります。
- ② 先月、全国子ども会育成中央会議・研究大会に参加してきました。（HP参照）その分科会で、会員減少のことが現状としてあげられました。そして学校とも家庭とも違う体験活動・異年齢交流の子ども会活動の素晴らしさも話し合われました。鹿児島県教育委員会は、第3土曜日はなるべくスポーツなどの諸団体の活動を行わず、子ども会活動などを行う日と定めてあるそうです。
- ③ 昨年、一昨年の市子協総会時の講演で（当時）関西大学次世代博士研究員・東海大学非常勤講師（現：熊本学園大学助教）の田中晶子先生は「子ども会活動は人とのつながりの中で成長する機会を与えてくれる」と話されました。楠6町内子ども会の活動は、小グループの小さい活動かも知れませんが、子どもたちにとっての意義は大変大きなものだと思います。
「地域の子どもは地域で育てる」という言葉がありますが、楠6町内の地域の皆様、子ども会役員の皆様、保護者の皆様に敬意を表します。
- ④ 楠6町内子ども会の益々のご活躍と子どもたちの健やかな成長をお祈りします。